

**宇宙ごみ除去サービスに取り組むアストロスケールが
G20 大阪サミットにおける国際メディアセンター内
「Society×Innovation スペース」へ出展**

宇宙機の安全航行の確保を目指し、スペースデブリ（宇宙ごみ）除去サービスの開発に取り組む、株式会社アストロスケールホールディングス（本社：日本、創業者兼 CEO：岡田 光信、以下「アストロスケール」）は、6月27日から4日間に亘り開催される「Society × Innovation スペース」に出展しています。

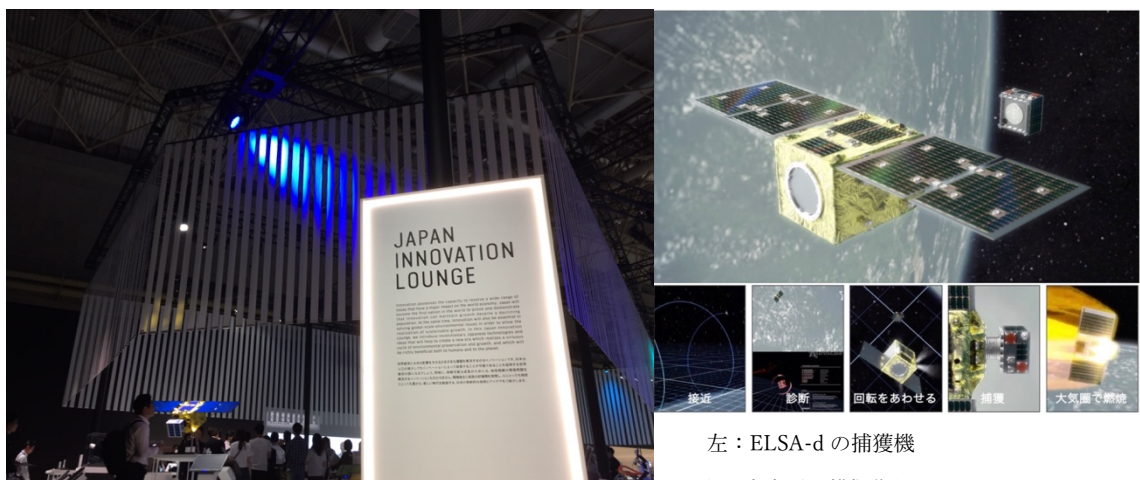
同展示は、日本政府が主催する「G20 大阪サミット」の併設イベントで、IoT や人工知能（AI）、ビッグデータ、宇宙技術など各社がイノベーション技術を紹介しています。アストロスケールは、内閣府設営のブース内に、2020年に打ち上げを予定する宇宙ごみ除去衛星「ELSA-d（エルサディー）」を展示しています。

記

▼G20 大阪サミット 国際メディアセンター（IMC）広報展示

	2019年6月27日（木）08:00～21:00（当社説明員：10:00～19:00） 6月28日（土）06:00～21:00（当社説明員：10:00～19:00） 6月29日（日）06:00～21:00（当社説明員：10:00～19:00） 6月30日（日）06:00～12:00（当社説明員：09:00～12:00）
会場	国際メディアセンター（IMC）
詳細	https://g20.org/jp/

▼出展内容：宇宙ごみ除去実証衛星「ELSA-d（エルサディー）」1/2サイズ模型



左：ELSA-d の捕獲機
右：宇宙ごみ模擬衛星



アストロスケールについて

アストロスケールは、宇宙機の安全航行の確保を目指し、次世代へ持続可能な軌道を継承する為、スペースデブリ（宇宙ゴミ）除去サービスの開発に取り組む世界初の民間企業です。2013年の創業以来、軌道上で増加し続けるデブリの低減・除去策として、宇宙機が故障や運用終了を迎えた際の除去（EOL サービス）や、既存デブリ除去（ADR サービス）の技術開発を進めてきました。本社・R&D 拠点の日本をはじめ、シンガポール、英国、米国とグローバルに事業を展開しています。

現在、デブリ除去の技術実証ミッションである、ELSA-d「エルサディー」の2020年打上げに向けて設計・開発に取り組んでいます。

詳細はこちら <http://astroscale.com>

【本件に対する報道関係者からのお問い合わせ先】

アストロスケール 広報

Eメール：media@astroscale.com

電話番号：（日本）03-6658-8175 | 080-4148-4378 野口